

参 考 资 料

## (1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革にともない、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪宮林局内の試験調査部門を編成がえのうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

### 関 西 支 場

- 昭和25. 4 大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として 12ha を決め、同時に桃山研究室を設置した
- 昭和31. 3 庁舎、研究室を新築、移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和38. 4 調査室設置
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林、保護の2部）
- 〃 防災研究室を岡山試験地から移設

### 岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和13. 1 1 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

## (2) 土 地 お よ び 施 設

### 1. 土 地

#### 1. 庁 舎 敷 地

	関 西 支 場	岡 山 試 験 地
庁舎および付属敷	11,539㎡	1,999㎡
苗 畑	13,270	4,264
樹 木 園	7,862	
見本林、実験林	27,998	64,817
計	60,669	71,080
2. 宿 舎 敷 地	9,373	916
3. 島 津 試 験 林	7,045	—
4. 宇 治 見 試 験 林	3,812	—
計	80,899	71,996

2. 主な施設

庁舎および研究室	4棟	1,582.0	1棟	346.5
温 室	1 "	54.5		0
ガ ラ ス 室	1 "	61.6		0
隔 離 温 室	1 "	51.3		0
殺 菌 培 養 室	1 "	48.6		0
樹病低温実験室	1 "	91.0		0
昆 虫 飼 育 室	1 "	105.8		0
林木水耕実験室	1 "	26.0		0
宿 舎	25 "	1,254.4	2 "	196.6

(3) 組 織

(昭和47年11月1日現在)



\* は主任研究官

#### (4) 会議の開催

##### 1. 昭和47年度(第14回)林業試験研究推進近畿・中国ブロック協議会

昭和47年11月28日と29日の両日にわたって、当支場会議室で開催された。

出席者は、管内府県林務行政担当者および公立林業試験研究機関の長、林野庁、大阪営林局、関西林木育種場、おなじく山陰支場の長および係官、当支場からは、支場長、各部長その他が参加した。なお学術経験者として京都大学農学部四手井教授、浜田助教授、日本林業同友会から馬岡専務理事が列席された。

第一日の午前は、当支場長、林野庁係官のあいさつ、前年度協議結果の処理経過報告などの全体会議のあと、たゞちに造林部会、保護・特産部会にわかれ分科会にはいった。

造林部会は、1) 大気汚染に関する問題、2) 複層林の施業に関する問題、3) その他を課題とし、また保護・特産部会では、1) マツ類の枯損防止に関する問題、2) 有害獣に関する問題、3) シイタケに関する問題、4) マツタケに関する問題、5) その他の課題をとりあげ、それぞれ提案機関より主旨説明、問題点の提起などがおこなわれた。

いずれの課題も、当ブロックとしては、重要課題であるので、行政側、研究機関側とも活発な討議がなされた。

第2日は、この両部会の討議結果の報告がなされ、そのうち中央協議会に提案または要望事項をとりまとめた討議がおこなわれ、それぞれ事務局で成文化し中央協議会へ提出することとした。

##### 2. 昭和47年度関西地区林業試験研究機関連絡協議会とその共同研究活動について

###### ○第25回総会

昭和47年8月、岡山市において開催、過去一年間における共同研究の経過と今後の計画について部会ごとに報告、これについて討議がおこなわれた。

つぎに、この共同研究を実施するにあたり「実施要領」の改訂案の審議がおこなわれたが、なお成文化のため委員会に付託し、次の総会に再提出することとした。

また、全国林業試験研究機関協議会にブロック代表として出席した委員からその協議内容の報告があり、最後に役員改選し総会を終了した。

なお、総会には、本場から加納調査部長、林野庁研究普及課から越村課長補佐が出席された。

###### ○各部会活動の状況

昭和47年度中におこなわれた部会活動はつぎのとおりであるが、當場研究員もそれぞれ参加し、共同研究の実施、助言あるいは研究情報の交換などをおこない、公立研究機関との研究上の緊密な連絡をおこなった。

部 会 名 (研究班名)	開 催 期 日	開 催 場 所	当 番 機 関
育 林 (ア カ マ ツ)	47. 6. 1~ 2	広島県三次市	広島林試
樹木公害	47. 9. 19~20	愛媛県松山市	愛媛林試
林業機械	47. 10. 23~25	//	//
育 種	48. 1. 24~25	岡山県美作町	岡山林試
特 産 (ク リ 新 品 種)	48. 3. 7~ 9	岡山県勝央町	//
特 産 (シ イ タ ケ ほ だ 木)	47. 11. 15~16	島根県松江市	島根林試
育 苗	48. 2. 22~23	三重県久居市	三重林業センター
保 護	48. 3. 6~ 8	奈良県吉野町	奈良林指
育 林 (林 地 除 草 剤)	48. 1. 30~2. 1	島根県玉湯町	島根林試
経 営 部 会 設 立 準 備 会	47. 8. 29~30	京都市	当 場
立 地 部 会 設 立 準 備 会	48. 2. 6	//	//

そのほか、研修会として、つぎのものを実施した。

名 称	開 催 期 日	開 催 場 所	当 番 機 関
トリコグマ菌現地研修会	47. 11. 17~ 18	鳥取県全国椎茸普及会菌じん研究所	鳥取林試
林業情報研修会	47. 10. 31~11. 1	当 場	当 場

### (5) 鑑定診断ならびに防除対策研究指導

#### ○病害関係

##### (概 況)

特筆すべき病害の発生は少なかった。苗畑におけるスギ赤枯病、稚苗の立枯病は近年の労務不足と農業規制とも関連して各地に被害が認められた。なお大気汚染地帯の山林には、マツのすす葉枯病、庭園木等には、すす病、うどんこ病等の発生が認められた。

##### (件 数)

国 有 林 関 係	2 件	2 点
民 // // // //	16	21
計	18	23

##### (内 訳)

苗木 9 件, 10 点; 林木 9 点; その他 2 件, 4 点。

スギ 4 点, マツ 3 点, ヒノキ 3 点, サクラ 3 点, クリ 2 点, シイタケ雑菌 2 点, 腐朽菌 2 点, ネム, ヒサカキ, ニセアカシア, キャラボク各 1 点。

○虫害関係

(概要)

マツノザイセンチュウとマツノマダラカミキリに関する照会がとくに多く、その中でも地域の関係から、庭園木などに対する単木的な防除処理についての問合せが相当数含まれている。また、吸収性害虫に関する照会も前年同様多かった。

(件数)

国有林関係	8件
他省庁〃〃	4
府県〃〃	38
会社・個人・社寺	19

(内訳)

マツ類51, スギ7, ヒノキ3, タケ6, その他19。

松くい虫関係(含材線虫)41, その他穿孔虫11, カイガラムシ類4, アブラムシ類3, ヒノキカワモグリガ3, 球果害虫3, チビタケナガシンクイ2, マイマイガ2, その他17。

(6) 受託研究, 調査, 指導

用 務	委 託 者	用 務 先	出 張 者	
			研究室名	氏 名
コロンボ計画による技術研究員の指導	海外技術協力事業団	九州地方	造 林	鈴木 健敬
林業先進地の枝打技術	岩手県立林業講習所	花巻市・宮古市	〃	早稲田 収
コロンボ計画による技術研究員の見学旅行同行	海外技術協力事業団	高野山国有林	調 査	横田 英雄
森林の公益的機能計量化に関する現地適用調査	財団法人水利科学研究所	新 宮 市	土 じ ゅ う	河田 弘
			〃	吉岡 二郎
大泉緑地森林造成に関する調査	大阪府南部公園事務所	大阪府堺市	支 場 長	黒鳥 忠
			造 林	早稲田 収
			土 じ ゅ う	河田 弘
			〃	吉岡 二郎
松くい虫丸太防除の薬剤散布	財団法人林業薬剤協会	岡山営林署管内	昆 虫	小林 一三
			〃	奥田 素男
山村の資源管理	山村振興調査会	滋賀県甲南町	経 営	久田 喜二
		〃 木ノ本町		
山火事跡地の現地調査	日本林業技術協会	兵庫県加古川市	防 災	阿部 敏夫
		岡山県和気・岡山市	〃	岸岡 孝
			〃	小林 忠一

(7) 研 修 関 係

技術研修受入れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
桐 林 秀 雄	富山農地林務事務所	47. 5. 8~ 8. 7	主要森林病虫害の早期発見法 主要森林病虫害の防除診断法
サコンサック	タイ国王室林野局・ 竹林試験場	47. 6. 1~ 8. 31	竹の栽培・管理
天 野 孝 之	奈良県林業指導所	47. 9. 4~12. 25	樹木病体解剖に関する研修
石川県林業試験 場 外25名		47. 10. 31~11. 1	林業情報管理研修

海 外 留 学

氏 名	留 学 先	留 学 期 間	研 究 内 容
藤 森 隆 郎	米国北西部林業試験 場	47. 8. 1~ 48. 1. 31	米国北西部(温帯針葉樹林)における針葉樹 林の物質生産力の調査

(8) 見 学 者

区 分	件 数	人 数	備 考
国	43	167	
府 県	17	178	
学 校	大 学	3	115
	高 中 学 校	3	198
	小 学 校	2	185
団 体	森 林 組 合	3	23
	木 材 組 合 等	1	3
一 般	10	35	
外 人	7	16	タイ国, アメリカ, 台湾, ベルギ, マラヤ
計	89	920	

47年4月1日~48年3月31日



(9) 人のうごき

47. 4. 1付

文 部 省 出 向 (山形大学教授)	防 災 研 究 室 長	遠 藤 治 郎
防 災 研 究 室 長	防 災 部	岸 岡 孝
総務部庶務課長補佐	庶 務 課 長	柳 谷 正 二
庶 務 課 長	予 算 係 長	菅 利 雄
総務部人事第二係長	庶 務 係 長	辻 一 男
庶 務 係 長	会 計 係 長	高 橋 忠 雄
会 計 係 長	用 度 主 任	酒 谷 正 憲
庶務課会計係へ採用		河 林 佳 代 子

47. 5. 1付

林 業 試 験 場 に 出 向	支 場 長	梅 原 博
支 場 長	土 じ ょ う 部	黒 鳥 忠

47. 7. 28付

退 職		梅 原 博
-----	--	-------

47. 9. 18付

退 職	保 護 部 長	伊 藤 武 夫
-----	---------	---------

47.10. 1付

保 護 部 長	保 護 部	山 田 房 男
保 護 部 昆 虫 科 昆 虫 第 一 研 究 室 長	昆 虫 研 究 室 長	小 林 富 士 雄
昆 虫 研 究 室 長 心 得	保 護 部	小 林 一 三

47.11. 1付

昆 虫 研 究 室 長	昆 虫 研 究 室 長 心 得	小 林 一 三
-------------	-----------------	---------

47.12. 25付

退 職	庶 務 課 庶 務 係	黒 田 ま ち 子
-----	-------------	-----------

48. 3. 31付

退 職	調 査 室	江 波 雅 彦
-----	-------	---------